



Noto Satoumi Movement
<能登の里海ムーブメント>>



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

第4回「能登の里海」シリーズ講座

羽咋の里海ブルーツーリズム

～里海的环境保全と生業を学ぶ体験型観光の展開～

- 日時：平成28年7月9日（土）13:00-15:30（受付12:30～）
場所：コスモアイル羽咋 ロトンダ（小ホール）
主催：羽咋市、国連大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（UNU-IAS OUIK）
共催：世界農業遺産活用実行委員会、能登地域 GIAHS 推進協議会
言語：日本語
参加登録：参加無料、一般公開
参加ご希望の方は、お名前とご連絡先（Email アドレスまたは電話番号）を記載のうえ、
7月9日里海講座参加希望」と明記し、FAX または Email にてお申し込みください。



長手島

国連大学サステナビリティ高等研究所

いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（UNU-IAS OUIK）

Email: unu-iasouik@unu.edu Fax: 076-224-2271

開催趣旨

国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット (UNU-IAS OUIK) と羽咋市は、7月9日(土)石川県羽咋市で「羽咋の里海ブルーツーリズム」をテーマとした第4回「能登の里海」シリーズ講座を開催します。

日本で唯一、世界でも珍しい、車でも走行できる砂浜として国内外に知られている千里浜海岸は、羽咋市から宝達志水町にかけて8キロのきめ細やかな砂浜を有します。しかし、年々砂浜の侵食が進み、深刻な環境問題に直面しています。陸続きで突き出た「長手島」がある柴垣海岸は、非常に眺めが良く、穏やかな波間が広がることが多い海岸です。これらの海岸では、特に夏の海水浴シーズンは大勢の観光客で賑わっており、マリンスポーツが楽しめます。また、白貝や柴垣天然岩ガキといった能登の海の幸も味わえます。そこで海を楽しみながら海の保全を学ぶという新たなブルーツーリズム(海的生活を体験する観光)を通して、羽咋の里海の環境保全の大切さを知ってもらうと同時に、里海に関わる生業を守ることが求められています。

本講座では、瀬戸内と沖縄のエコツーリズムをはじめ全国のブルーツーリズムについて大変詳しい上嶋英機氏、地元羽咋市で里海応援隊として活動されている「チーム柴垣」の西久子氏を講師としてお招きし、羽咋市で活躍している関係者等と共に、羽咋のブルーツーリズムの魅力と今後の可能性、それぞれの経験から里海のめぐみを活かした里海づくりについてお話しいただき、地域の生業づくりに里海が果たしている役割や、それらの生業を通じて保全されている里海の魅力発信したいと考えています。

なお、本講座は、UNU-IAS OUIK が実施している「能登の里海ムーブメント」の啓発活動の一環として位置付けています。「能登の里海ムーブメント」とは、里海概念や「能登の里海」の魅力と里海に関わる生業について県内外の方々に、より深く理解していただけるよう情報を発信していくとともに、能登地域を日本海の里海の研究と保全活動をリードする拠点として定着させていくための取り組みであり、この取り組みを通して「能登の里海」の国内外における認知度を高め、里海における生業の振興に繋がりたいと考えています。

プログラム (受付: 12:30~)

- 13:00-13:05 開会挨拶 永井三岐子 (UNU-IAS OUIK 事務局長)
- 13:05-13:50 講義①「瀬戸内海のエコツーリズムの活動」
上嶋英機 (瀬戸内海エコツーリズム協議会理事長)
- 13:50-14:20 講義②「歌で届けよう♪羽咋里海応援隊「チーム柴垣」の活動」
西久子 (「チーム柴垣」マネージャー・石川県漁業協同組合柴垣支所主任)
- 14:20-14:30 「『能登の里海』ムーブメント」 イヴォーン・ユー (UNU-IAS OUIK 研究員)
- 14:30-14:45 休憩
- 14:45-15:25 パネルディスカッション
モデレーター: イヴォーン・ユー
パネリスト: 中田昌宏 (宇宙科学博物館コスモアイル羽咋)、上嶋英機、西久子
- 15:25-15:30 閉会の言葉 羽咋市

講師・パネリスト



上嶋 英機

(うえしま ひでき)
瀬戸内海エコツーリズム
協議会理事長

1944年福井県敦賀に生まれる。1972年経済産業省の研究所で瀬戸内海の環境保全・再生と環境資源を管理する研究に従事。この間、徳島大学大学院の教授を併任。2005年に研究所を退任後、広島工業大学大教授に就任。2015年より現職。現在は特に瀬戸内海の貴重な自然環境や人文・社会環境資源を基に海のエコツーリズム活動を行い、人材育成と事業化を提案し島嶼部の活性化に向けた活動を行っています。



西 久子

(にし ひさこ)
「チーム柴垣」マネージャー・
石川県漁業協同組合柴垣支所主任

「チーム柴垣」羽咋里海応援隊として結成4年目。柴垣海岸には、砂浜から海に突き出た「小天橋立」とも呼ばれる長手島があり、この長手島の岩場から豊富なミネラル類を含む魔法の真水(みず)が湧き出て石川の夏の絶品ブランド柴垣天然岩ガキが育っています。この岩ガキの応援歌として「歌になった柴垣天然岩ガキ」を生み出し「チーム柴垣」を結成し、歌とダンスは羽咋まつりや保育所の運動会、介護予防体操にとりいれられ、羽咋市に元気を与える活動を行っています。



中田昌宏

(なかた まさひろ)
宇宙科学博物館
コスモアイル羽咋職員

石川県羽咋市生まれ。本物の宇宙船が展示されている施設「宇宙科学博物館コスモアイル羽咋」の職員。UFOのまち羽咋市のイメージキャラクター「宇宙人サンダーくん」のプロモーションやグッズ開発などを手掛け、羽咋市の観光振興に尽力しています。また、羽咋青年会議所、羽咋市商工会青年部、羽咋市青年団協議会などの団体に所属し、「千里浜クリーン」や「はくい花火大会」など市内の様々なイベントの運営に携わっています。



イヴォーン・ユー

国連大学 UNU-IAS OUIK 研究員

シンガポール出身。15年前に沖縄県費留学生として初来日し、その後シンガポール政府国家公務員を経て今年で来日通算10年目を迎えました。2011年に UNU-IAS OUIK のインターンを経験した縁で、2012年秋、東京大学公共政策大学院卒業後に国連大学に入所しました。現在は国連大学の研究者として、世界農業遺産の保全と能登の里山里海資源の持続的な利用について研究と保全活動に取り組みながら、東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻博士課程(国際水産開発専門)に在籍。